資料５

＜内閣府 青年国際交流事業＞

○日本や各国を代表する青年同士が、多国間や相互での交流を行うことによって、国際的視野を広げ、理解と友好を促進し、国際協調の精神と実践力を向上させ、リーダーシップを発揮できるようにすることが目的
○参加各国の青年からは、政治指導者を始め各界のリーダーを数多く輩出
○今上陛下の御成婚記念として始まって以来、皇室の関わる事業として実施。友好の象徴として諸外国から高い評価

	多国間交流事業		二国間交流事業		
	東南アジア青年の船	世界青年の船	日中･日韓青年親善交流	国際青年育成交流	青年社会活動ｺｱﾘｰﾀﾞｰ育成
経緯	・日本･東南アジア諸国共同声明(1974年) ・日･ASEAN首脳会議(2003年)で事業の支援を採択	・明治百年記念(1967年)に開始、1988年に現在の形(海外青年数の大幅増加・ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ中心)に再編	・日中平和友好条約締結(1978年)を契機に開始(1979年) ・日韓共同声明(1984年)、国交正常化20周年(1985年)を契機に開始(1987年)	・今上陛下御成婚(1959年)を記念して開始、皇太子殿下の御成婚(1994年)を記念して再編	・高齢・障害・青少年の３分野に係る社会活動の中心的担い手となる青年リーダー育成を目的として2002年に開始
事業概要 (平成２３年度実績)	外国青年との濃密なディスカッションやホームステイがプログラムの中心				
	(参加青年) ・日本青年等40人 ・ASEAN10ヶ国の青年等300人 (訪問国) ASEAN10ヶ国のうち５か国 (時期・期間) 約40日間の航海を含めた約50日間(10月下旬から)	(参加青年) ※1 ・日本青年等140人 ・12ヶ国の青年等132人 (訪問国) ２か国程度 (時期・期間) 約40日間の航海(1月から)	(参加青年) ・日中の青年等各30人 ・日韓の青年等各30人 (訪問国) 中国・韓国 (時期・期間) ・派遣:15日間 (9月) ・招へい:15日間 (11月)	(参加青年) 日本及び4ヶ国の青年等各48人 (訪問国) 4ヶ国 (時期・期間) ・派遣:18日間 (9月) ・招へい:18日間 (7月)	(参加青年) ・上記3分野に従事する日本青年等27人 ・同外国青年等39人 (訪問国) 3ヶ国 (時期・期間) ・派遣：10日間 (10月) ・招へい：15日間 (2月)
既参加青年数	日本青年等：1457人 外国青年等：9182人(10か国)	日本青年等：2763人 外国青年等：3639人(64か国)	日本青年等：854人 (中国) ：715人 (韓国) 外国青年等：934人 (中国) ：822人 (韓国)	日本青年等：4735人 外国青年等：3686人(67か国) ※1994年の再編前の事業参加者を含む。	日本青年等：217人 外国青年等：380人(12か国)

※1　平成24年度の「世界青年の船」事業は、世界10か国の青年と日本青年が、20日間程度航海し、途中日本国内3か所に寄港するとともに、航海終了後、日本青年は課題別に5グループに分かれて１週間程度外国を訪問する。